



さんきょうだい

たこべえ三兄弟

物語

ものがたり



いち

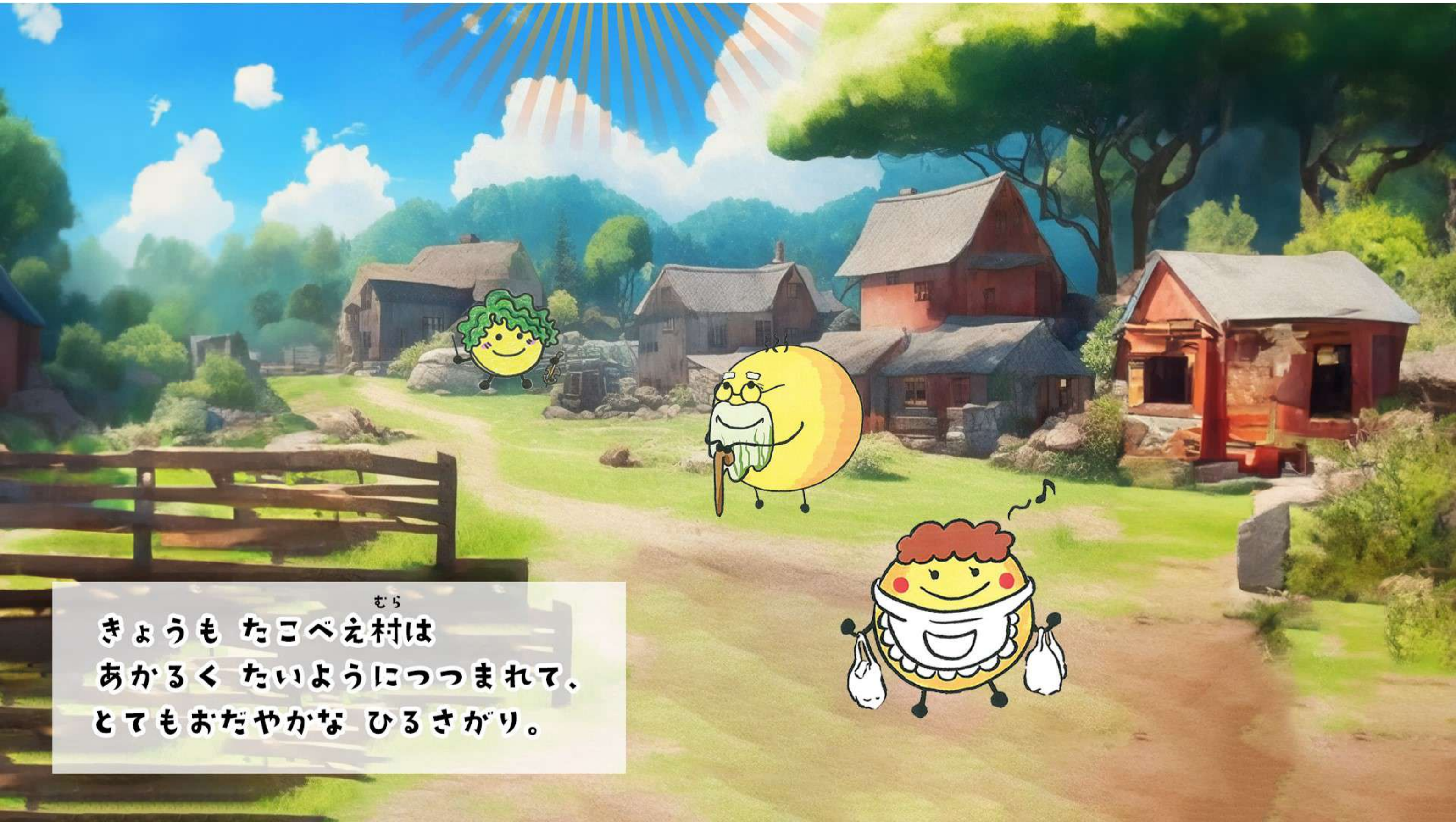
だい1わ

たこべえパパが たいように



さく
作: やまもと そうぜん

はいけい せいせいえーあい
背景: 生成AI



むら
きょうも たこべえ村は
あかるく たいようにつつまれて、
とてもおだやかな ひるさがり。

たこべえ家の三兄弟は
いつものように なかよく村のひろばで
あそんでいます。



じさんのマヨたこ



あか
ちょうなんの赤たこ



くろ
さんなんの黒たこ

そのとき...

なんと大きな いんせきが
あかるいたいように
ぶつかったのです。



つよいしよらげき陽より。
たのよらは 目撃目撃
くたつてしまひました。

たいようがなくなってしまう
たこべえ村は
まっ黒なくらやみに
とざされます。



^{むら}
村にすむみんなはもちろんだがしやさんのたまばあやあばれんぼうのえびべえ、

そして

^{せんせい}
さんすうのいかべえ先生までも
^{おお}
大あわて。



くらやみのなか、しんぱいになった
たごべえ村のみんなが
ひろばに あつまってきました

ナンだなんだ？

ナニがおきた？



とっぜん、
そんなふうの「いぶんべえ」が
こえをあげます。

このままじゃ
いかん!





たいようがなければ
おこめもやさいもとれず、ごはんがつかれなくなる。

**みんな おなかがすいて
しんでしまおうんじゃ!**



えー

っ!?



だから

だれかが たいように
ならなければならんが
だれかいなか!?



みんながこまったかおの、そのとき……

たこべえパパが いました

わたしが みんなのために
たいようになります!

それをきいたみんなは
おお
大よろこび。

しかし、
おどろいたのは
け さんきょうだい
たこべえ家の三兄弟。



すえっこで なきむしな黒たこは
「たいようになったらもうパパにあえなくなるからイヤだ！」
と なきだします。

ちょうなんて せいぎかんのつよい赤たこ、
まけずぎらいのじなんのマヨたこは
ぐっとなみだをこらえます。



それを^み見ていた
たこべえママは

くろ
黒たこを
ギュッとだきしめながら
いいました。

よしよし、よしよし
もう なかないで

あか
赤たこも マヨたこも
とってもえらいわよ



そして、たこべえパパは いました。

ひと
人にはだれかのために

がんばらなければならぬ時がかならずある

いま
それが **今** なんだ



これからパパがいうこと。ずっとおぼえていてほしい。

ひと
人のためになることや

ひと
人をたすけることは、

かならずじぶんが良くなる

ことにつながるんだ。

それは いつか

じぶんがこまった^{とき}時に

だれかにたすけられたり、

じぶんの^{ほんとう}本当のしあわせに

つながるんだ。

さんきょうだい

三兄弟は なみだをこらえていました。

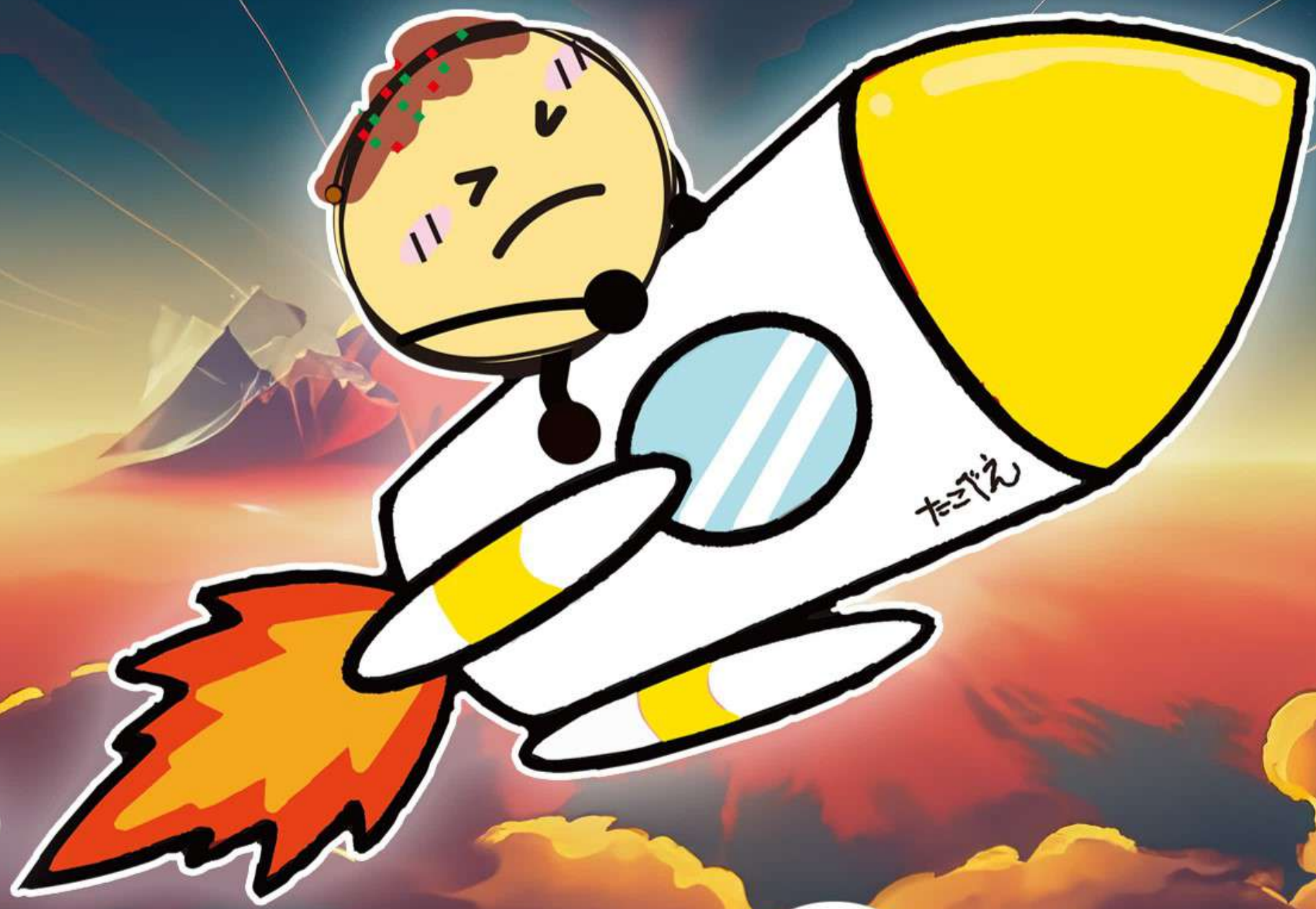
わかった。
それならぼくが
パパのかわりに
みんなまもるから

ぼくももう なかないよ
だってぼくがなくと
パパがしんぱいするから

ぼくもママを
ぜったいに^{まも}るから



それからパパは
ロケットにのって
そら
お空にとびたちました。



パパがんばって、パパげんきてねえ

と みみんなてパパを見おくります。



そしてたこべえパパは
たいよう
みんなの太陽になりました。



たこべえ、きょうも
おつかれさまじゃ

それからのまいにち
たこべえ^{むら}村は
あかるくおだやかな
たこべえパパのひかりにつつまれています。





^{あか} 赤たこ、^{まよ} マヨたこ、^{くろ} 黒たこはおそらにむかって

パパ。ぼくたちは さびしくないよ！！
だっていつも おそらを見あげれば パパがいるから



と、パパにとどけと ^{おお} 大きなこえて いました。



おわり。。。